

# 店舗改修で、 お店生き生き

平成26年度店舗改修事業町補助金を活用して、6店舗がリニューアルしました。事業を実施した関係者の皆様に、改修の効果などについて話していただきました。

## ■坂本商店(上寺)

### テントの張り替え

「テントが軽く丈夫になり、スタレの上げ下げが楽になりました。また、テントが広がったことで、自販機などを風雨から守ってくれます。絵柄がカラフルになったのも嬉しいです」  
(坂本ミツエさん)



## ■チボリーノ(矢部バイパス)

### 屋外にウッドデッキ設置

「熊本市などの自転車ライダーから『チボライド(チボリーノを指して自転車をこぐ)』と呼ばれるほど、本店は目的地になっています。デッキを休憩・交流の場所として、愛用していただきたい」(竹本みつ子さん。写真は娘さんの有紀さんとお孫さんの光ちゃん(右)、ひま李ちゃん(左)。)



## ■本さつまや(新町)

### 1階ロビーにカウンター設置、玄関先に花壇設置

「カウンター設置により、お客様に料理の温度、香りなどを素早くお届けすることができます。大切な人を連れて来ていただけるような空間にしたいですね。通りから、店の賑わいが伝われば嬉しいです」(岸本竜彦さん)



## ■ミルクィウェイ(大平)

### 外壁・屋根の改修、テントの張り替え

「『おしゃな店ができたねー。今まで知らなかった』という声を耳にします。いかに外観が大事かということに気づかされました」(成瀬真弓さん)。



## ■浜町歯科(浜町)

### 床の張り替え、外壁塗装など

「全般的に雰囲気明るくなりました。また、玄関の段差を低くしたことで、ご年輩の方から歩きやすくなったなど、好評のご意見をいただいています」(佐藤文代さん)



## ■(有)古閑石油

### ショップこが(大平)

### テントの張り替え

「外観は店の顔です。破れていたテントが新しくなり、雰囲気が明るくなりました。従業員の気持ちにも張りが出ています」(古閑高年さん(左))。(右)は下田和則さん。



※平成27年度も予算の範囲で店舗改修事業を実施します。補助率は、借用の店舗の場合、事業費の2分の1(補助金上限50万円)、所有している店舗の場合、事業費の3分の1(補助金上限30万円)です。平成27年度から山都町の全地域の店舗が対象となります。詳細は、商工会本所(電話72-0186)、商工会清和支所(電話82-2017)、商工会蘇陽支所(電話83-0037)にお尋ねください。【山の都創造課(電話72-1158)】

# お知らせ

## 体育施設(体育館・グラウンド)について

### ○体育施設の利用について

体育施設の利用については、適切な利用に心がけてください。また危険な行為等は禁止します。

### ○体育施設の予約について

- 体育施設の予約は、利用日を含む3日前までに予約をしてください。但し、予約する日・時間帯において施設が開放されており、活動スペースがある場合は、その限りではありません。
- 予約した日についてキャンセルする場合は、管理人及び生涯学習課、清和分室、蘇陽総合支所総務住民課まで必ず連絡をしてください。
- 施設予約は、前月5日から可能です。但し屋外団体が雨天時に体育館等を予約する場合は前月15日からとなります。

生涯学習課 ☎72-0443 清和分室☎82-3033  
蘇陽総合支所総務住民課☎83-1111

## 山都町観光案内所

ギャラリー喫茶  
**ルポン**

☎72-1054 水曜日定休日

## 『フォトサークル山都 写真展』

出展者: フォトサークル山都

期間: H27年5月1日(金)～  
5月30日(土)まで

会員が、町内外を問わず、フリーテーマで撮り歩いた自然・景勝地・山林・棚田・花などの写真を展示します(約30点ほど)

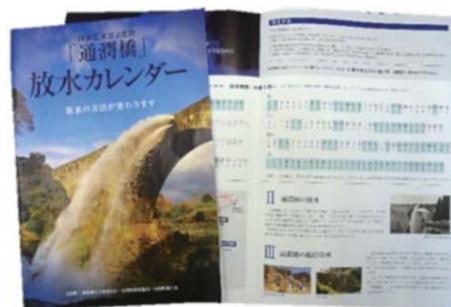
# 「重要文化財 通潤橋 保存活用計画」を策定

～よりよい保存・活用を目指し、“計画放水”へ移行～

山都町教育委員会では、平成25年度から26年度まで通潤橋保存活用計画策定事業を実施し、平成27年3月末に「重要文化財通潤橋保存活用計画」を刊行しました。この計画は、国の重要文化財である通潤橋のより一層の保存と活用を推進するため、文化庁及び専門家、地元関係者により組織した委員会での検討に基づき策定したものです。計画書は、山都町立図書館本館で公開しています。

また、この事業のなかで山都町の観光資源として重要な通潤橋の放水については、国民全体の財産である重要文化財の活用として相応しいものとするために、料金を支払った一部の人のみに公開を限定していた予約放水をなくし、全ての放水スケジュールを事前公表する計画放水へと転換することを決定しました。今回の変更にあたっては、「現役の通水機能を保持し続けている水路橋である」という特有の価値を多くの方々に伝え、文化財・観光の双方の面において効果的な放水とすることを目的としています。

なお、この保存活用計画策定にあたり実施した石材をはじめとする諸分野の保存調査の結果については、平成27年度に調査成果報告会を開催する予定としています。



観光客向けに配布している放水カレンダー(町HP等でも公開中)



「重要文化財 通潤橋 保存活用計画」

# 「山都町中央公民館」が第67回優良公民館表彰を受賞しました。

山都町中央公民館主催の「いきいき大学」を中心としたボランティアグループ「いきいき大学通潤橋案内ボランティア」が平成26年度第67回優良公民館表彰を受賞しました。これは、公民館等が事業内容、方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献しているものを優良公民館として文部科学大臣が表彰し、今後の公民館活動の充実・振興に資するものです。

受賞内容は、毎年、9月から12月にかけて通潤橋の社会見学に訪れる県内の多くの小学生に、通潤橋の原理や役割、円形分水等について18名の案内ボランティアが交代でガイドを行っていることです。毎年約100校5,100人前後の児童がボランティアによる案内を受けています。

今回の表彰は、地域課題の解決方法として、地域の資源を活用した地域活性化を目指し、地域人材を育成するための「いきいき大学」における案内ボランティアの育成及び資質の向上に取り組み公民館の存在が大きいという理由で表彰されました。平成26年度は全国で77件、熊本県からは山都町の中央公民館が唯一表彰を受けました。



通潤橋案内ボランティアの皆さん

